

令和2年度 地方創生推進交付金事業 評価資料（別冊）

④四万十町で育てる取り組み（ステージ別の人材育成プログラムの推進）

【目次】

令和元年度事業報告

「未来塾」事業	・・・	1～5
「四万十塾」事業	・・・	6～10
「産業振興塾」事業	・・・	11～14

令和3年7月
四万十町人材育成推進センター



＜令和2年度事業報告書＞

【未来塾】 ～わがまち四万十町の未来を元気にする人財の育成～

施策1 四万十町高校応援大作戦

町内高校の存続と魅力化を将来のまちの課題としてとらえ、地域や行政、関係機関との連携のもと効果的かつ持続可能な魅力ある学校づくりを目指す。

① 町営塾「じゆうく。」の運営

概要	町内高校の魅力化推進の柱として、生徒一人ひとりの希望進路の実現を応援するため、放課後の学び場を設定し、意志を持って主体的に行動できる生徒をはぐくむ。
実施状況	<p>①事業内容 窪川高校生・四万十高校生の学力向上支援</p> <p>②開塾日数 くぼかわ教室…161日/4～3月まで しまんと教室…133日/4～3月まで</p> <p>③通塾生の状況（※令和2年9月現在） ※9月以降に3年生が徐々に退塾するため。 ・通塾申請者数 くぼかわ教室 37名/64名中（うち定期通塾生32名） しまんと教室 26名/63名中（うち定期通塾生23名）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
	<p>④学習指導等 <19歳、未来が動き出す。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導内容 <集団授業> <ul style="list-style-type: none"> 1年生（英語・数学）、2年生（数学） 各週1回（1日2コマ） 定期テスト前－斉学習（数学・英語中心） 基礎力診断テスト前補習（1年生対象） <個別学習> <ul style="list-style-type: none"> 宿題サポート、ICT教材学習（すらら・学びエイド）、オンライン英会話 個別面談…学習目標・計画の設定、定期テスト振り返り その他 …キャリア教育講座（週1）、オンライン英会話（週1） <p>⑤受験コースを設置…大学等への進学を目指す生徒を対象としたコースを新たに設置</p> <p>⑥高校との情報共有…月次報告会、教員との情報共有（生徒情報等）</p> <p>⑦「じゆうく。」通信の定期発行（毎学期）</p> <p>⑧成果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回以上の定期通塾生が登録制の7割以上 ・両校全校生徒の半数以上が塾登録生 ・定期テストの目標点数の達成、基礎力診断テストの成績ランクアップ ・生徒6名が一般・推薦で受験し、7つの大学（近畿大学、高知工科大等）に合格。

課題・方針等	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 町営塾体制の確立…まちの教育の魅力の一つとして継続 ◎ 町営塾の成果指標の明確化と提示 ◎ 町営塾の広報強化（特に中学生へのアプローチ）
② 高校魅力化コーディネーターの配置	
概要	高校の特色ある教育活動の魅力をさらに進めるため、地域や行政とのパイプ役のもと、多様な教育環境づくりと社会に開かれた学校づくりを推進する。
実施状況	<p>窪川高等学校と四万十高等学校に「高校魅力化コーディネーター」を配置（窪川高校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習時間の企画及び授業、キャリア教育サポート ・学校広報、学校案内作成及び生徒募集支援 ・行政、地域及び町営塾との連絡調整 ・学校の行事や会議等への参加による情報共有 <p>（四万十高校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校広報（学校案内作成・ホームページ等） ・生徒募集（県外募集）支援、県外生徒対応 ・行政、地域及び町営塾との連絡調整等
課題・方針等	<ul style="list-style-type: none"> ◎ コーディネーターの役割と業務内容の明確化 ◎ 学校内課題の共有による優先業務の選定 ◎ 学校内部（教員）の理解と中学校との連携強化分野の検討





③ 通学助成事業	
概要	町内高校に通学する生徒の保護者負担軽減と町内高校への進学促進等を図る。
実施状況	<p>➢ 四万十町高等学校通学費助成金 公共交通の定期乗車券購入費の1/2補助。 ただし、町内月額3,000円及び町外月額5,000円を超える部分を全額補助</p>
課題・方針等	◎ 周知強化と事務処理の簡素化

④ 高校生海外研修事業	
概要	異文化の環境で英語に親しみ、国際的な視野を広げるとともに、ふるさとに愛着と誇りを持ち、様々なことに挑戦する意欲をはぐくむ。
実施状況	<p>令和2年度四万十町高校生海外研修</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center; color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;"> 東京五輪による渡航費高騰等を見越して中止 </div>
課題・方針等	<ul style="list-style-type: none"> ◎ これからの学びにどのようにつなげていくか ◎ 英語学習を含み主体的に挑戦できる研修機会の工夫 ◎ 感染症や費用面も考慮し、新たなプログラムを検討（令和3年度も休止）

⑤ 高校生のための町内合同企業説明会	
概要	高校生の就職先の選択肢を広げ将来を考える機会と、町内企業が自社の魅力発信ができる機会を提供する。

実施状況	<p>(事業内容)</p> <p>新卒者の採用予定等のある町内企業のPRや面談等を通じて、職種や業務内容を知り、職業観や勤労観をはぐくむキャリア教育につなげていく。</p> <p>(実施予定)</p> <p>・日時 令和2年3月13日(水) 13:00～18:00</p> <p>・会場 農村環境改善センター</p> <p>・参加生徒 窪川高校及び四万十高校の1・2年生(79名)</p> <p>・参加企業 町内19事業所</p>
------	---

新型コロナウイルス感染症対策のため中止

⑥ 教育振興会支援事業	
概要	町内外の交流や研修事業、部活動及び寮運営費について両教育振興会を通じて助成を行い、保護者負担の軽減と学校生活の活性化を図る。
実施状況	<p>(事業内容)</p> <p>窪川高校教育振興会補助金 (R2年度決算: 7,873千円)</p> <p>タブレット端末等 ICT 教育支援、ICT 教育 Co 配置</p> <p>四万十高校教育振興会補助金 (R2年度決算: 5,475千円)</p> <p>タブレット端末等 ICT 教育支援、寮運営費補助、県外生募集</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
課題・方針等	<p>◎ 単なる学校生活支援ではなく特色を活かせる教育活動を支援</p> <p>◎ 実績評価基準の設定と学校関係者への周知</p>

施策2 教育イベント(「じゆうく。」特別事業含む)

学力向上を柱に、児童生徒及び保護者への意欲醸成を図り、一人ひとりの夢・志を実現できる教育環境づくりを推進する。

実施状況	<p>①教育後援会</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>「明日の数学をもっとおもしろく！」</p> <p>・日時: 令和元年7月21日(日)</p> <p style="text-align: center;">13:30～18:00</p> <p>・会場: 役場東階大ホール</p> <p>・講師: 野田 亮太 氏</p> <p style="text-align: center;">(大手予備校講師)</p> <p>・参加者: 中高生 16名</p> </div> <p style="color: red; font-size: 24px; text-align: center;">新型コロナウイルス感染症対策のため中止</p> <p>②シゴトフェス</p> <p>各分野の第一線で活躍しているオトナ 9名を招き、仕事について、勉強について、自分について、中高生とオトナがともに考えるイベント。今年度はオンラインにて開催。ゲストそれぞれの仕事や生き方、高校時の進路の選び方などを話し合っ</p>
------	---

た。

- ・日時：令和2年9月13日（土）
- ・会場：農村環境改善センター
- ・参加者：地元高校生（33人）
- ・ゲストスピーカー：(株)博報堂社員、(株)コクヨ社員、河合塾社員 等



③新型コロナウイルス感染症による休校期間でのオンライン授業

4、5月の休校期間にオンラインによる授業や探求学習、面談等を実施。また四万十CATVにて「新型コロナウイルス」をテーマとした授業企画を実施。

- ・参加者：57名（延べ）



④地域横断プロジェクト「フミダス」

「自分が一歩踏み出すことで、自分の世界が広がること。」自分が一歩踏み出すことで、まだ見ぬ自分に気づくことを応援する地域横断型プロジェクト（四万十町・岡山県吉備中央町・大分県豊後高田市）です。

- ・各地域から参加した生徒が3チームに分かれてオンラインで企画・運営
- ・7月から11月にかけて週1-2回の企画会議を開催。
- ・計画した企画「オンラインイベントの開催」「地元自慢PR動画の制作」等を実施



⑤探求学習を定期的に行う

様々なテーマを基に学びを深める探求学習を定期的に行う。

「探求学習：ファッション」

- ・日時：11月19日（水）

- ・会場：農村環境改善センター大会議室
- ・対象：19名（生徒）



「未来洞察授業」（河合塾との連携プログラム）

- ・期間：1月中旬～2月中旬
- ・対象：15名（生徒）



課題・方針等

- ◎ 教育現場独自で取り組むことができない分野を支援
- ◎ 保幼・小・中・高の連携すべき分野抽出と体系的な計画づくり
- ◎ 地域教育の魅力づくりに向けた全体のマネジメント役の確保

【四万十塾】 わがまち四万十町の地域を元気にする人財の育成

施策1 地域イノベーター養成講座

概要 「地域のために何かしたい」「起業をしてみたいけど、まだ勇気がない」「何をして良いのかわからない」等々、そういった思いを持った方々が地域の活性化や課題解決をジブンゴトとして捉え、チャレンジし続ける人材を育成する。

実施状況

■ 地域イノベーター養成講座

委託先：高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室（須藤 順 講師）

受講生：11名（うち5名が昨年度からの継続受講）

〔第1回目〕開催日：令和2年8月1日（土）

会場：四万十町役場十和地域振興局2階ホール

講師：株式会社サンクラッド 代表取締役 馬場 加奈子



〔第2回目〕開催日：令和2年8月29日（土）

会場：農村環境改善センター・大会議室

講師：合同会社こどもみらい探求共同代表 小笠原 舞



〔第3回目〕開催日：令和2年9月26日（土）

会場：農村環境改善センター・大会議室







講師：釜石市役所オープンシティ推進室長 石井 重成



〔第4回目〕開催日：令和2年10月31日（土）

会場：四万十オートキャンプ場ウエル花夢

講師：埼コミュニティドクター 漆畑 宗介

	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>〔第5回目〕開催日：令和2年11月28日（土） 会場：地域交流センターたのの 講師：ハバタク株式会社 代表取締役 丑田 俊輔</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>〔第6回目〕開催日：令和2年12月19日（土） 会場：四万十町役場本庁東庁舎1階多目的ホール</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>今年度成果</p>	<p>〔地域イノベーター〕今年度任命者4名（延べ25名） ⇒ R4年までの延べ受講者数40名</p> <p>〔参加者の動向〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当講座で検討したプランを1名の方が実行に移した。 ・受講生でプラン実現のためにクラウドファンディングにチャレンジした者もいた。
<p>課題・方針等</p>	<p>< 方針 > 地域イノベーター養成講座は、誰かが知識や方法論を教えるのではなく、受講生一人ひとりと大学生メンターと一緒にマイプロジェクトを進め、喜びや悩み、想いを共有しながら一歩ずつ前に進んでいくことを目指す。</p> <p>< 課題 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ●長期的な講座となるため、受講生の気持ちを切らせないような仕掛けが必要。 ●講座終了後に、個々が行動に移すための仕掛けが必要。 <p>< 次年度 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域イノベーター（修了生）の交流の場の創設やスタディツアーの実施 ●同様な講座を展開している他自治体の受講生との交流を図る。（ヤル気を高める）
<p>施策2 四万十ビジネスプランコンテスト</p>	
<p>概要</p>	<p>町内の活性化や地域課題をジブンゴトとして捉え「チャレンジする人材」への支援として開催する。当コンテストは、町内で新しいビジネスや事業、その他四万十町を元気にする取り組みを行いたいと考えている方のプランを一つでも実現するために開催する。</p>

<p>実施状況</p>	<p>■ 四万十ビジネスプランコンテスト</p> <p>○募集プラン 四万十町の活性化や地域課題解決に繋がるアイデアやサービス 四万十町の資源を活用したアイデアやサービス</p> <p>〔最終審査会〕開催日：令和3年2月27日（土） 会 場：窪川四万十会館</p> <p>○大賞 「古い物の新しい使い方」（田村 彩花 氏）</p>  
<p>今年度成果</p>	<p>〔応募プランの実現〕 7件（古道具屋、NPO 設立、ゲストハウス等の開業） ⇒ H31 年までの実現件数（KPI）5件 今年度で達成</p> <p>〔応募プランの実現予定〕 6件</p> <p>〔実現に向けた支援体制〕 町内金融機関・商工会・NPO 法人・四万十町役場が1・2カ月に1回の割合で、情報交換会を定期的に開催。また、クラウドファンディング等の紹介も随時行っている。</p>
<p>課題・方針等</p>	<p>< 方 針 > 町内で新たな活動を生み出すきっかけとなり、一人でも自分のプラン（夢）を実現できる町になるような取り組みとする。</p> <p>< 課 題 > ●応募者の確保、応募プランを実現するための支援体制の構築 ●応募プラン実現に向け、より良い学びの場の創設が必要</p>
<p>施策3 トライセクター人材育成事業</p>	
<p>概要</p>	<p>町内の活性化や課題解決に比較的関心のない人材や、新たな学びを望んでいる人材に対し、様々な知見を提供する事により、町政等への関心を高め、「地域」「民間」「行政」の垣根を超えて、地域の活性化に挑戦する人材（トライセクター）の育成や発掘等行う。</p>

実施状況

■ トライセクター人材育成事業

様々な講座等への参加を促し、「学ぶ事」への関心を高め、その他の人材育成事業への参加するきっかけとして開催している。

《委託事業講座》

新型コロナウイルス感染拡大のため、委託事業講座の実施を取りやめた。

《しまんと未来大学》

町の将来を考える上で、必要な自由な発想やおもしろいテーマでの学びや、住民の皆さまが交流できる場を提供する事を目的としている講座。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン講座として開催した。



今年度成果

〔延べ受講者数〕 24名

課題・方針等

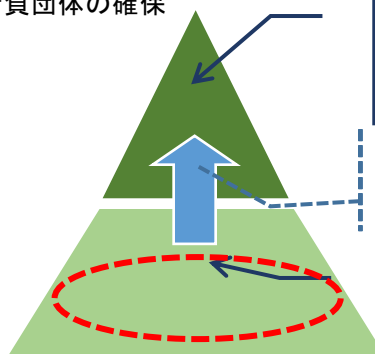
＜方針＞

今まで行政が展開してこなかった講座等を開設する事により、新たな層（人材）の掘り起こしを図る。

＜課題＞

●講座内容（コンテンツ）等の充実や、他の人材育成事業との連携。

●請負団体の確保


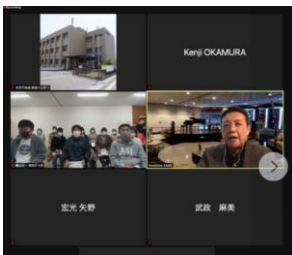



【町の施策に関心のある層】
現在の四十十塾等の受講者は、この層の方が多い。ただし、この層の方々は町が講座等を提供しなくても、自らが進んで研修等を受講する傾向にある。

関心のない層が、参加しやすいような講座等を提供し、少しでも町政に関心を持ち、今後主体的に活動する人材となるような仕掛けが必要。

【人材育成等の施策に余り関心のない層】
町政等にあまり関心がない層。人口減少が続く本町においては、人材育成事業等を通じて、この層の方々が、自ら進んで関心を持つようになれば、地域を支える人材の育成や確保が図られる。

【トライセクター事業の対象となる層】

施策3 高知大学連携事業	
概要	高知大学とは、①人材の育成に関すること・②高知大学の教育及び研究に関すること・③高知大学に在学する学生の地域学習及び研究機会の拡大に関すること・④四万十町の計画などに関すること等を、具体的かつ実践的に取り組む事を目的に、平成27年3月に連携協定を締結している。現在は、その協定に基づき、町民を対象とした講座や講習会の開設、地場産品等の研究等を協働で推進している。
実施状況	<p>■ 高知大学出前公開講座</p> <p>高知大学の教員等が地域に出向き行う講座で、本町では「子育て世代」をターゲットとした取組みを行っている。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、オンライン講座の開設も行った。</p> <p>◎令和2年度高知大学出前公開講座 in 四万十町</p> <p>【第1回】「土佐方言と幡多方言」 (受講者17名) 高知大学教育学部 准教授 岩城 裕之 先生 ＜日時＞12月2日(水) ＜会場＞ 農村環境改善センター</p> <p>【第2回】「メンタルトレーニングの基礎～勝負の前に知っておくこと～」 (受講者16名) 高知大学教育学部 教授 矢野 宏光 先生 ＜日時＞12月8日(火) ＜会場＞ オンライン講座</p> <p>【第3回】「身近なものを版画にしてみよう」 ※新型コロナウイルス感染拡大のため中止 高知大学地域協働部 准教授 吉岡 一洋 先生</p> <p>【第4回】「こどもの勉強のきほん」 (受講者9名) 高知大学教職大学院 准教授 松本 秀彦 先生 ＜日時＞12月23日(水) ＜会場＞ オンライン講座</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>■ スポーツ交流事業</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p style="color: red; font-size: 1.2em; font-weight: bold;">新型コロナウイルス感染拡大のため、 開催を見送った。</p> </div>
今年度成果	●高知大学との新たな協働事業が開始した。(食品ロス等のSDGs関連事業)
課題・方針等	<p>< 方針 > 高知大学等と連携することにより、高等教育機関の知見を活用した各種施策の推進と、町内の子ども達に進学等への関心をより一層深めていく。併せて県外出身者が多い学生に対し、活動を通じて、四万十町のファンとなるきっかけの場とする。</p> <p>< 課題 > ●大学との継続的な関係性の保持、事業の受け皿となる庁内組織の確保。</p>

実施状況

【 理事会活動 】※一部紹介

○栽培品目の研究

カボチャ
10/13
桐島畑
圃場見学



ミシマサイコ
12/24
越知町
視察研修



○四万十組のデザイン化

協力企業：有限会社イーストクリエイツ（高知大学受託研究）



[1/19 現地取材]



[ポスター]



[デザイン展開]

■ 物流・販売部会

【 四万十町フェア開催 】

開催日：令和3年3月1日～3月3日（平日）、3月20日～3月21日（土日）

開催場所：シェフズマルシェ学芸大学駅前店（東京都目黒区）ほか2店舗

協力企業：株式会社アンシェフ、佐川急便株式会社

出荷者：四万十野菜合同会社、甲把理事、神林農園、四万十農産、碓井会員
みよしファーム、村上農園合同会社、桐島畑、酒井会員



【 アグリフードEXPO オンライン展示会出展 】

開催期間：令和2年11月2日～令和3年3月31日

事務局：高知大学次世代地域創造センター

出展者：三好理事（みよしファーム）

内容：ウェブサイトを見たバイヤーが、
資料請求や商談申込を行う



■ 生姜部会

実施状況

【高知大学受託研究】

研究題目：高知県四万十町のショウガ圃場の土壌特性および微生物環境に関する研究

関係機関：高知大学、J A、高南農業改良普及所、四万十町

○土壌試料採取 ≪ 6/23 ~ 7/22 ≫ 施肥作付け後の作土層から土壌試料を採取

協力者：四万十組 10 会員、J A 生姜栽培研究会 6 会員、営農支援センター 2 圃場



※その他 1 圃場：武田会員（西ノ川）

○土壌断面調査 ≪ 12/5 ~ 12/13 ≫ 収穫後に、断面調査と土壌硬度の計測

協力者：四万十組 2 会員、J A 生姜栽培研究会 4 会員、株式会社あさの 2 圃場



○令和 2 年度報告会 ※開催日時：令和 3 年 3 月 29 日（月） 15：00~17：00

課題・方針等

- ◎ 活動目的に沿った事業目標の設定及び具体的活動の実行と改善を行う。
- ◎ 事例を一つひとつ積み上げていく地道な活動を展開し、農業者 NW の取組みの浸透と組織的活動の確立を図っていく。

施策2 町内事業者人材育成支援事業

概要 産業人材育成のため、四万十町内の事業者等に対し、社員教育の重要性について啓蒙するとともに、人材育成計画等の策定や中核人材の育成、確保に向けた取組みを支援する。

実施状況 ① **経営者セミナーの開催** (共催 四万十町商工会・にぎわい創出課)

講師：吉井裕之氏（高知県移住促進・人材確保センター／中小企業診断士）

備考：「個別相談会」⇒「社員研修促進事業費補助金」

相談員 植田和彦氏（同センター 求人支援コーディネーター西部担当）

新型コロナウイルス感染症対策のため開催中止

【参考】これまでの開催実績

	開催数	受講者数（累計）	
平成29年度	全3回	31事業所	39名
平成30年度	全4回	24事業所	42名
令和01年度	全3回	13事業所	13名



② **新入社員・若手社員合同研修の開催** (共催 四万十町商工会・にぎわい創出課)

講師：吉井裕之氏（高知県移住促進・人材確保センター／中小企業診断士）

新型コロナウイルス感染症対策のため開催中止

【参考】これまでの開催実績

	開催数	受講者数（累計）	
平成29年度	全2回	20事業所	44名
平成30年度	全1回	5事業所	20名
令和01年度	全1回	4事業所	20名



- 課題・方針等
- ◎ オープンセミナーからアフターフォローにつなげる仕組みづくり
 - ◎ セミナーを通じて派生する個別支援策の拡充
 - ◎ 事業成果の検証方法・評価指標の具体化